

514) 傘

今日は早い所は午前中に、遅くとも午後からは雨になると言う。電車に乗ると傘を持っている人、持ってない人半々ぐらいである。小生は会社は何本も置き傘があるから、たいていの場合、今にも降りそうなき以外は傘は持参しないのだが、この日は小生も傘を持参した。さて赤羽まで来ると座席の隅の手摺があるところに座っていた人が、やおら立ち上がると、手摺に傘を置いたまま扉の方に歩き始めた。傘を忘れている。小生はすかさず「傘を忘れてますよ！」と声を駆けると、その人は振り向きもせず電車を降りようとするから、私はもう一度、傘を手にしなから、「傘を忘れてますよ!!」と、今度はさらに大きな声で言うと少し離れた席から、「それ私のです。」と声がかかった。「いや失礼。失礼。」別に悪いことをしたわけでないが、なぜかぞっこんバツが悪かった。

その日、帰りの電車に乗る頃には雨は上がっていた。そして私は電車の中に傘を忘れた。畜生なんで誰も教えてくれネーんだよー。